

令和6年度

第3回 入間市社会教育委員会議

日 時 令和6年12月20日(金)

午後2時00分～3時30分

会 場 入間市庁舎 4階 大会議室

次 第

1 開 会

2 議長あいさつ

3 協議事項

(1) 公民館活動団体の減少について

4 報告事項

(1) 各委員からの活動報告

(2) 教育部社会教育担当各課からの報告

5 その他

・次回の会議日程について

第4回 令和7年3月7日(金) 午後2時から

市庁舎 5階 全員協議会室

6 閉 会

入間市社会教育委員名簿

任期：令和5年5月1日から令和7年4月30日まで

No.	氏 名	選 出 区 分	備 考
1	ひし 菱 さより	学校教育関係者 (豊岡小学校)	
2	いいじま かずひろ 飯 蔭 一 博	学校教育関係者 (東金子中学校)	
3	あんどう りゅうじ 安 藤 龍 嗣	学校教育関係者 (豊岡高等学校)	
4	さとう きよみ 佐 藤 清 美	社会教育関係者 (市文化協会)	
5	さいき しげる 齋 木 茂	社会教育関係者 (市スポーツ協会)	議長
6	ねぎし さくら 根 岸 桜	社会教育関係者 (市子ども会育成会)	
7	ながさわ けんじ 長 澤 健 次	社会教育関係者 (博物館ボランティア)	
8	にしむら めぐみ 西 村 めぐみ	社会教育関係者 (小学校図書サポートスタッフ)	副議長
9	さいとう かつひさ 齋 藤 勝 久	社会教育関係者 (元気が出るふじさわ未来ネット)	
10	むらの ゆうこ 村 野 裕 子	家庭教育関係者 (乳幼児サークル指導者)	
11	よしの まさる 吉 野 勝	家庭教育関係者 (児童センター)	
12	こうもり やすお 幸 森 康 夫	学識経験者 (入間市生涯学習をすすめる市民の会)	
13	たなべ あけみ 田 辺 暁 己	学識経験者 (幼児教育)	
14	みやじま かずこ 宮 蔭 和 子	学識経験者 (文芸入間編集委員)	
15	しらき たかのぶ 白 木 賢 信	学識経験者 (東京家政大学)	

グループ協議名簿

グループ	氏 名	選 出 区 分	備 考
A	ひし 菱 さより	学校教育関係者 (豊岡小学校)	
	きとう 佐 藤 清 美	社会教育関係者 (市文化協会)	
	よしの 吉 野 勝	家庭教育関係者 (児童センター)	発表者
	こうもり 幸 森 康 夫	学識経験者 (入間市生涯学習をすすめる市民の会)	
B	たなべ 田 辺 暁 己	学識経験者 (幼児教育)	
	ねぎし 根 岸 桜	社会教育関係者 (市子ども会育成会)	
	しらき 白 木 賢 信	学識経験者 (東京家政大学)	発表者
	にしむら 西 村 めぐみ	社会教育関係者 (小学校図書サポートスタッフ)	
C	むらの 村 野 ゆうこ	家庭教育関係者 (乳幼児サークル指導者)	発表者
	さいき 齋 木 しげる	社会教育関係者 (市スポーツ協会)	
	みやじま 宮 蔦 かずこ	学識経験者 (文芸入間編集委員)	
	さいとう 齋 藤 勝 久	社会教育関係者 (元気が出るふじさわ未来ネット)	

協議事項 (1) 公民館活動団体の減少について

～第3回 地域貢献のための生涯学習講座とは～

第2回社会教育委員会議でのグループ討議の中でいただいたご意見をまとめました。

【第2回 地域活動を支える人材の掘り起こし策について】

○リーダーとなる人材について

- ・リーダーがフランクにみんなで話し合うという姿勢だと活動が活性化する。
- ・イベントに集まる人は、得意なこと、やってみたいことをボランティアでやるのであって、リーダーになりたいわけではない。
- ・こども食堂を始めたい人に対して養成講座をした。でも、それだけでなく、後継者を一本釣りすることもある。
- ・養成講座も画一的でなく、地域の実情に合ったものが必要。
- ・この人にまとめ役をやってほしいと思っても、話をすると来なくなってしまうことが多い。
- ・リーダーとして、その人が必要になる場面を作るのがいいのではないか。
- ・若い人を地域のリーダーに位置付ける。元生徒会役員、青少年の船の子などを地区センターのリーダーとして働かせる、部屋を自由に使えることなどを条件にして。
- ・積極的に参加している女性が多い。リーダーの対象ではないか。
- ・元教員など、スキルを持った人に声をかけるのがよいのではないか。

○地域人材について

- ・役員と言うと引かれる。強制でなく自由参加、ゆるいつながりを大事にすべき。それを学校、公民館がサポートする。
- ・自分たちで地域をよくしようと思ってる若者はいない。結果的に、街づくりになってたんだねとなったらいい。
- ・幼稚園で役員をなくしたら入園希望者が増えた。年長の親が自主的に卒業に向けて活動を始めた。きちんとした組織ではなく、やりたい人が話し合っていてやっている。
- ・子どもたちがボランティア団体に入りたいと言っても、前例がないからと断られている。

○公民館職員について

- ・こども食堂立ち上げに公民館職員の力が大きかった。一緒にやろうというスタンスで、提案もしたし、役も引き受けていた。
- ・大きなイベントなど人が多く集まるときに、職員が参加すれば、いろいろ得意なことを持っている人たちとのつながりができる。
- ・地域に出て行って、サークルやその他の活動をする人たちの気持ち、思いを、地域の人に広げるべきではないか。

○活動団体数の減少について

- ・サークル活動に新しい人が入りづらい。体験教室、親子教室なら来やすいのでは。
- ・子ども会をかるた部に変えたら参加者が増えたり、ネーミングも大事。
- ・若い人には、インスタグラムなどのSNSが効果的ではないか。
- ・新陳代謝を促すには年齢制限なども考えられる。
- ・減るのは仕方がない。女性やシニアも働いていて、公民館に行く時間はない。
- ・長くやっていると、社会のニーズとは合わなくなる。衰退は仕方がない。
- ・設立時の思いを強く持つ人がいると重く感じてしまう。
- ・何十年もやって人が減り、増やしたいというのは正直無理だと思う。それに代わるものをつくるしかない。
- ・自然に人が集まってくるような、今何が求められているかを考える必要がある。
- ・高齢化とともにメンバーが固定化して新規には入りにくい。習い事にお金をかける余裕も今はないのではないか。
- ・公民館に行かなくてもネットとかでできてしまう。
- ・親が役員が面倒だと考えて子どもが参加しないなどある。
- ・市が補助金を出している団体を横断的につなげて互いに勧誘し合うのはどうか。
- ・子ども会は、コロナによる中断によって参加者が大きく減少して、回復が難しい。人が減ると同じ人が役員をやることになり、その難しさもある。
- ・ジュニアリーダーも、今の子は経験が少なく、やりたいことが思いつかない。
- ・高齢化で移動手段がなくなると参加が難しい。

○公民館、地区センターについて

- ・昔の空き地に子どもが集まったように、子どもから高齢者まで、いつ行ってもよい居場所のようところが公民館にあったらいい。
- ・公民館が中学生、高校生の学びの発表の場になるといい。地域を巻き込んで活性化する。
- ・学校も校長先生の姿勢で変わる。公民館館長も替わると変わることも。

○学校とのかかわりについて

- ・部活をやって、地域のこともやるというのは難しい。
- ・教師が地域の活動を理解していない。年度末の子どもへのアンケート調査で知るくらい。
- ・部活の地域移行で、地域での活動が部活動の扱いになるとよい。顧問役は地域の人になる形で。
- ・部活でも、経済的に厳しくて参加できない場合もある。公民館ですべて用意すると言ったら参加者はいると思う。

他自治体の具体例

佐賀県立生涯学習センター（アバンセ）

課題解決支援講座

https://www.avance.or.jp/syougai/_1263/_5978/_5979.html

グループ協議

第2回の審議結果を踏まえ、第3回会議では、「地域貢献のための生涯学習講座とは」をテーマに、具体的にどのような講座を開催したらよいか、各グループでご審議いただきたいと思います。

(協議35分、発表各グループ2～3分)

地域貢献とは、地域社会の発展や福祉向上のために、自身の時間やスキル、資源を提供することです。これはボランティア活動、地域イベントの企画・運営、地元のニーズに応じたサービス提供など、様々な形で行われます。目的は、地域住民の生活の質を向上させ、地域全体がより良いコミュニティになることです。

生涯学習講座は、年齢や職業に関わらず、誰もが継続的に学び続けるための講座やプログラムのことです。これには、職業スキルの向上、趣味や興味を深めるための学習、健康維持や福祉に関する教育などが含まれます。生涯学習の目的は、個々の自己実現や生活の質の向上だけでなく、地域社会全体の活性化にも寄与します。

「いるまの男塾」は、入間市社会福祉協議会と金子公民館の共催で来年度、金子公民館を会場に開催されます。これまで豊岡地区中心の開催でしたが、来年度から他地区でも実施予定です。テーマは、「地域の助け合い等の地域デビューを前提として、楽しみながらお互いのつながりをつくる。」です。

報告事項（１）各委員からの活動報告

委員の皆様が行った（または行う予定の）社会教育活動や各所属団体における活動についてご報告をお願いします。

報告事項（２）教育部社会教育担当各課からの報告

社会教育課

（１）第２９回いるま生涯学習フェスティバル

・会場開催

日 時：令和６年１２月１日（日） 午前１０時３０分～午後３時４５分

会 場：入間市産業文化センター

内 容：生涯学習活動の成果発表、活動紹介。

生涯学習活動を行う個人、団体の交流。

参加者数：約２，０００人

・オンライン開催（WEB 配信）

期 間：令和６年１２月１日（日）～令和７年１月１２日（日）

会 場：入間市生涯学習をすすめる市民の会ホームページ「いるまなびとサイト」(<https://irumanabito.net/>) 内に設置される「いるま生涯学習フェスティバル特設サイト」

（２）第２５回入間市美術協会 小品展（絵画・彫刻）

日 時：令和６年１２月１７日（火）～２２日（日）午前１０時～午後５時まで
（１７日は午後１時から、２２日は午後４時まで）

会 場：産業文化センター 第２集会室（Ａ）

共 催：入間市美術協会・入間市教育委員会

内 容：美術協会会員による絵画・彫刻作品のうち小さな作品を展示

（３）第３９回入間市書道展 同時開催：入間市児童生徒書き初め展示会

日 時：令和７年２月２１日（金）～２４日（月・休）午前９時３０分～午後４時４５分まで（２４日は午後３時まで）

会 場：入間市博物館アリット

共 催：入間市書道連盟・入間市教育委員会

内 容：公募により出品された書道作品を展示します。同時に「入間市児童生徒書き初め展示会」も開催します。

（４）第２４回入間市三曲連盟定期演奏会

日 時：令和７年２月２日（日） 正午開演（午前１１時３０分開場）～午後３時１０分終演予定

会 場：産業文化センター ホール

共 催：入間市三曲連盟・入間市教育委員会

内 容：三曲連盟の会員・準会員による箏・三絃・尺八の演奏、こども三曲教室参加者の発表

(5) 第39回入間市文化協会芸能発表会

日 時：令和7年3月9日（日）午前10時～午後5時頃まで

会 場：産業文化センター ホール

共 催：入間市文化協会・入間市教育委員会

内 容：文化協会会員によるカラオケ、ダンス等の芸能発表

博 物 館

(1) 第28回『むかしのくらしと道具展』

実施期間：令和7年1月7日（火）～2月16日（日）

会 場：博物館特別展示室・市民ギャラリー・常設展示室・市民広場

内 容：昭和の時代を中心に、くらしの道具や写真、イラスト等300点あまりを展示。今回は「こどもの装い いま・むかし」と題して、昭和、そして平成の小学生の服装や、古いミシン・裁縫道具など、被服関係のむかしの道具も紹介します。さらに、むかしの遊び体験など楽しみながら「むかしのくらし」を学ぶことができます。

(2) 日光さる軍団 猿まわし公演〔指定管理者自主事業〕

実施期間：令和7年1月26日（日）10時から

会 場：博物館正面玄関前

(3) 文化財防火訓練

実施期間：令和7年1月26日（日）9時30分から10時30分

会 場：西久保観音堂（宮寺）

内 容：初期消火講習会、初期消火訓練、消防団による放水など

(4) 配付資料

・ニュースアリット 118号（令和7年1月1日発行）

図 書 館

(1) 冬のおたのしみ会

本 館

日時：12月14日（土）14：00～15：00

会場：産業文化センターB棟2階 研修室

内容：ペープサート「ぐりとぐらのおきやくさま」、大型絵本、
パネルシアター、ハンドベルの演奏等

協力：読み聞かせボランティアグループ「どんぐり」

西武分館

日時：12月21日（土）10：30～11：30

会場：西武分館2階 会議室A・B

内容：絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、手あそび等
協力：読み聞かせボランティアグループ「かざぐるま」

金子分館 日時：12月7日（土）14：00～15：00
会場：金子地区センター 洋室A・B
内容：パネルシアター、絵本の読み聞かせ・紙芝居等
協力：読み聞かせボランティアグループ「茶の花」

藤沢分館 日時：12月22日（日）14：00～15：00
会場：藤沢地区センター2階 洋室CD
内容：大型絵本、大型紙芝居、パネルシアター、楽器の演奏等
協力：読み聞かせボランティアグループ「トトロ」

(2) 配付資料

・図書館だより 令和6年10月号